

鹿児島港臨港道路整備事業(鴨池中央港区線)



イメージパース



国土交通省

国土交通省 九州地方整備局
鹿児島港湾・空港整備事務所

鹿児島港の概要

鹿児島港は、種子島、屋久島、奄美諸島への離島航路や、沖縄航路、鹿児島湾内に就航するフェリー航路の基地港として機能しており、離島及び沖縄への生活物資や建築資材等の輸送拠点として、また地域における交通の結節点として重要な役割を果たしています。

港湾区域は、北から本港区、新港区、鴨池港区、中央港区、谷山一区、谷山二区、浜平川港区の7港区に分かれており、それぞれの港区ごとに機能分担が図られています。



事業の目的

鹿児島港では、県内離島及び沖縄向けの貨物は倉庫機能を持つ谷山一区・谷山二区・中央港区で発生しており、フェリー等が就航している本港区・新港区まで貨物を陸上輸送しています。

鹿児島港臨港道路は、鴨池中央港区線が未整備であるため、港湾における交通の一部が一般道路(国道225号又は産業道路)を経由し貨物を陸上輸送していることから、一般車両と港湾関係車両が入り交じり一般道路では慢性的な渋滞が発生している状況です。



産業道路(中央港区周辺)



国道225号(鴨池港区周辺)



国道225号(鴨池港区周辺)

鹿児島港において、港内の円滑な交通を確保し、周辺道路の交通混雑を緩和することを目的として臨港道路(鴨池中央港区線)の整備を行うものです。

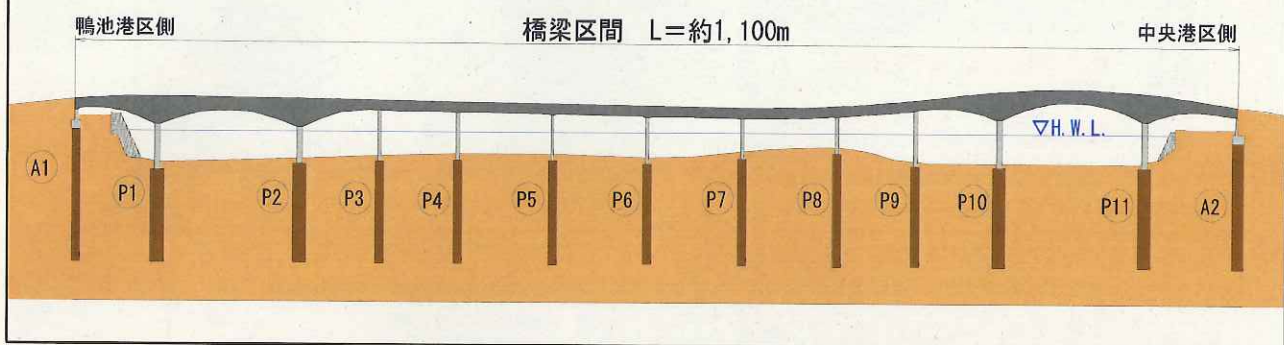
事業の概要

- 整備の内容
臨港道路(鴨池中央港区線)
- 計画交通量
18,700台/日
- 計画の諸元
延長:2,400m、車線数:2車線、設計速度:60km/h
- 事業期間
平成29年度 ~ 平成34年度



橋梁区間一般図

(縦:横=3:1)



平成29年度施工

平成29年度は、中央港区側陸上区間において地盤改良工事に着手します。

【工事の概要】

■ 工法: 浅層混合処理工法

バックホウで軟弱地盤を0.5m程度掘削し、セメント系固化材を混合しながら埋戻しを行い、地盤を固化する工法

地盤改良工事の施工イメージ



事業の効果

鹿児島港臨港道路のボトルネックとなっていた鴨池中央港区線が供用されることで臨港道路のミッシングリンクが解消され、港湾関係車両及び一般車両の円滑な流動が可能となり走行時間の短縮が図られます。

慢性的な渋滞の緩和により、港湾関係貨物をはじめとする物流の効率化や、企業活動、人流・商業活動及び観光振興の活性化に寄与します。

背後幹線道路等の渋滞緩和により、交通の円滑化が図られCO₂、NOx等の排出量を削減します。



国土交通省 九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所
〒892-0835 鹿児島市城南町23-1
TEL: 099-223-3296 FAX: 099-239-0409